

教科 Subject	サステナビリティ		科目 Course	SIA特論 I	学年 Grade	5	単位数 Credits	2	
教科書 Textbook				副教材Additional Text /materials	学びの技 14歳からの探究・論文・プレゼンテーション (玉川大学出版部)				
科目の目標 Course Objectives			SGH3分野 (多文化共生と減災、経済活動と貧困、社会生活と循環) の理解とともに、社会課題に目を向け、その解決方法や高校生ができることを考察し、課題研究の素地を作る。						
評価の基準 Assessment Standards			授業内評価=70% (プレゼンテーション、ポスターセッション、レポート等)、授業点=30%、学年末にて評定を算出します。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	ガイダンス			個人の視野を広げたり、違った価値観に触れたりすることで、物事を多面的に捉えられるようになる。			
		2	アクティビティ						
		3							
	5	4	SGH3分野①			3分野のテーマの座学と調べ学習を通して問題点や解決方法を考察し、理解する。			
		5	世界一大きな授業						
6	7	7	3分野の社会課題を設定し、その解決方法を模索して発表する			グループワークを通して協調性や効率性、創造性、表現力、思考力を養い、全体の前で発表できるようになる。			
		8							
		9							
7	11	10	1学期最終プレゼン			時間内で効果的な発表 (ポスターセッション、プレゼン、動画) ができるようになる。			
		12							
2 学期	9	13	光楓祭における展示発表準備・発表			情報を正確にまとめ、他者に伝わりやすい成果物を作成できる。			
		14	アクティビティ						
		15							
	10	16	SGH3分野②			3分野のテーマの座学と調べ学習を通して問題点や解決方法を考察し、理解する。テーマから導き出される課題を理解し、課題解決の方法を模索して討論することができるようになる。			
		17	3分野の社会課題を設定し、その解決方法を模索して発表する						
	11	21	18	2学期最終プレゼンテーション			時間内で効果的な発表 (ポスターセッション、プレゼン、動画) ができるようになる。		
			19						
20									
12	25	21							
		22							
3 学期	1	23	SGH3分野③			3分野のテーマの座学と調べ学習を通して問題点や解決方法を考察し、理解する。テーマから導き出される課題を理解し、課題解決の方法を模索して討論することができるようになる。			
		24	3分野の社会課題を設定し、その解決方法を模索して発表する						
		25							
	2	26	3分野の社会課題を設定し、その解決方法を模索して発表する			時間内で効果的な発表 (ポスターセッション、プレゼン、動画) ができるようになる。			
		27	学年末最終プレゼンテーション						
	3	34	28						
29									

履修者へのメッセージ Message for Students

SIA特論 I ではパソコンなどのICT機器を駆使しながら、現代社会にある課題に目を向け、各自がテーマを設定して研究・発表していきます。定期試験はなく、授業内で行うプレゼンテーションやポスターセッション、動画、レポートや論文などで評価をしていきます。社会課題の解決に取り組む企業を調べたり、グループでディスカッションしたりするなかで知識を深め、「高校生にできること」を考え、行動に移していきます。

教科 Subject	サステナビリティ		科目 Course	SIA特論Ⅱ (演習)	学年 Grade	6	単位数 Credits	1	
教科書 Textbook				副教材Additional Text /materials					
科目の目標 Course Objectives			探求学習をするうえで重要なスキル（思考する技術、情報を収集する技術、論理的にまとめる技術、発表する技術等）をSGH3分野（多文化共生と減災、経済活動と貧困、社会生活と循環）を例に学ぶ。						
評価の基準 Assessment Standards			授業内評価=100%（プレゼンテーション、ポスターセッション、レポート、アクションペーパー等）、学年末にて評定を算出する。この授業は出席と毎回課される課題への取り組み状況が非常に重要である。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	ガイダンス			3分野を例に、個人の視野を広げたり、違った価値観に触れたりすることで、物事を多面的に捉えられるようになる。			
		2	アクティビティ						
		3							
	5	4	マインドマップ			マインドマップを通して頭の中を整理したり、記憶したり、発想を広げたりすることができるようになる。			
		5	KJ法						
6	6	7	ワールドカフェ方式			グループワークを通して協調性や効率性、創造性、表現力、思考力を養い、全体の前で発表できるようになる。			
		8							
		9							
7	7	11	小論文			実際の大学入試の問題に触れながら、自分の考えを論理的にまとめ、文章で表現できるようになる。			
		12							
2 学期	9	13	面接（大学）			大学入試の面接を想定し、自分のことや社会課題について、端的にわかりやすく口頭で表現できるようになる。			
		14	面接（就職）						
		15							
	10	10	17	グループディスカッション			ディスカッションを通して自分の意見の主張と他者の意見の尊重をはかり、グループとしての考えをまとめることができる。		
			18	プレゼンテーション準備					
			19	プレゼンテーション					
	11	11	21	ポスターセッション準備			これまで学習したことを活用し、時間内に個人で効果的な発表ができるようになる。		
			22						
			23						
	12	12	25	ポスターセッション			これまで学習したことを活用し、時間内にグループで効果的な発表ができるようになる。		
			26						
	3 学期	1	27						
28									
29									
2		2	30						
			31						
			32						
3	3	34							
		35							

履修者へのメッセージ Message for Students

SIA特論Ⅱ（演習）ではパソコンなどのICT機器を活用しながら、現代社会の課題を探求し、それらの課題に対する自分の考えを整理・アウトプットする手法を学んでいきます。定期試験はなく、授業内で行うプレゼンテーションやポスターセッション、アクションペーパー、レポートや小論文などで評価をしていきます。本校のSGH3分野の概要を主体的に理解し、常にSIA特論Ⅱ（2単位）における課題研究との関わりを意識してください。

教科 Subject	サステナビリティ		科目 Course	SIA特論Ⅱ (高大連携)	学年 Grade	6	単位数 Credits	1
教科書 Textbook	なし			副教材Additional Text /materials	ケース			
科目の目標 Course Objectives			環境問題、エネルギー資源問題、地方創生に係る問題を身近な問題として捉え直し、自然の叡智を活かす提案ができるジェネリックスキル (GS) の育成を目指す					
評価の基準 Assessment Standards			授業参加：40%、レポート：40%、プレゼンテーション：20%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	オリエンテーション+自習ワーク：環境問題について再考する			そもそも環境問題とは何か？理解する		
		2	体験ワーク：市民科学とは？～身近な環境調査体験			市民参画型環境調査の意義を理解する		
		3	自習ワーク：時事問題をチェック～身近な環境問題調べ体験			身近な環境問題を再考する		
	5	4	グループワーク：アイスブレイク：砂漠で遭難ワーク			グループワークの意義・進め方について理解する		
		5	グループワーク：アイスブレイク：宇宙で遭難ワーク			グループワークの意義・進め方について理解する		
		6	グループワーク：環境問題の解決が難しい理由は？			環境問題の解決の難しさの本質を再考する		
	6	7	環境ゲーム：マイタウンの建設の結果は？			日本の水質汚濁・海岸ゴミ問題を再考する		
		8	グループワーク：藤前干潟をどうする？			名古屋のゴミ処理・自然環境保全に係る問題を考える		
		9	座学・ビデオ学習：日本のエネルギー資源の過去・現在・未来			自給率7%の日本が直面するエネルギー問題を考える		
		10	グループワーク：原子力発電をどうする？			日本のエネルギーミックス、エネルギーの地産地消について考える		
	7	11	プレゼンテーション：身近な環境問題調べ学習の成果発表(1)			時事環境問題の相互理解(1)		
		12	プレゼンテーション：身近な環境問題調べ学習の成果発表(2)			時事環境問題の相互理解(2)		
2 学期	9	13	グループワーク：どうして絶滅してしまう生物がいるのか？			生物多様性に係る4つの危機について理解する		
		14	座学・ビデオ学習：森と林業の近代史			日本の森林資源について再考する		
		15	グループワーク：日本の森 これからどうする？			日本の森林の管理は以下にあるべきか？考える		
		16	座学・ビデオ学習：地方消滅？ 日本の人口問題			日本の人口減少問題について理解する		
	10	17	座学・ビデオ学習：地域活性化事例紹介（上勝町・豊岡市）			地域資源を活かした地域創生事例を学ぶ(1)		
		18	座学・ビデオ学習：地域活性化事例紹介（西栗倉村・神山町）			地域資源を活かした地域創生事例を学ぶ(2)		
		19	プレゼンテーション資料づくり(1)			地域資源を活かした地域創生についてケーススタディ検討(1)		
		20	プレゼンテーション資料づくり(2)・プチプレゼン演習			地域資源を活かした地域創生についてケーススタディ検討(2)		
	11	21	地域創生 事例プレゼンテーション(1)			ケースに関する議論を通して分析を行い、GSの育成を図る		
		22	地域創生 事例プレゼンテーション(2)			ケースに関する議論を通して分析を行い、GSの育成を図る		
		23	地域創生 事例プレゼンテーション(3)			ケースに関する議論を通して分析を行い、GSの育成を図る		
		24	地域創生 事例プレゼンテーション(4)			ケースに関する議論を通して分析を行い、GSの育成を図る		
12	25	地域創生 事例プレゼンテーション(5)			ケースに関する議論を通して分析を行い、GSの育成を図る			
	26	講義全体の振り返り・自己評価と学びの共有			本講義で学んだことについて振り返り、確認を行う			
3 学期	1	27						
		28						
		29						
	2	30						
		31						
		32						
3	33							
	34							
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

教科 Subject	サステナビリティ		科目 Course	SIA特論 II	学年 Grade	3/6	単位数 Credits	2
教科書 Textbook				副教材Additional Text /materials	2018データブック(二宮書店)			
科目の目標 Course Objectives			(一貫・普通・教養科)アジア・アフリカ・ヨーロッパ・南北アメリカ+オセアニアの国のデータから、社会課題を探究し、持続可能な社会の実現のために必要な方法を考える。					
評価の基準 Assessment Standards			平常点50% (毎時の授業参加)、学期ごとの提出課題50%の総合評価を行う					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	○オリエンテーション→世界を知る⇒国の決定			●データの抜き出し資料を完成させる。		
		2	○データの抜き出し					
		3						
	5	4						
		5						
	6	○データから課題発見作業			●			
	6	7						
8								
9								
7	10							
	11	○研究テーマ設定(仮説など)と発表						
2 学期	9	12						
		13						
		14						
		15						
	10	16						
		17						
		18						
		19						
	11	20						
		21	○教科書：すべての冒険には「影の主役」がいる					
		22	●研究：結果をまとめ、考察する					
		23	その他：光楓祭における中間発表資料作成					
12	24							
	25							
	26							
	27							
3 学期	1	28						
		29						
		30						
	2	31						
		32						
		33						
	3	34						
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

人間はさまざまなものを生み出しています。最新の科学技術からコンビニエンスストアの新品まで、私たちの生活をより豊かにするものが日々創出されています。一方で人間は、環境問題、貧困、不平等など、現在社会課題として世界規模で対策が求められている事象の作り手でもあります。授業では、様々な苦境をFrontier Spiritを以て切り拓き世の中を変えてきたチェンジ・メーカーを取り上げ、各人の理念や意思を理解します。併せて、高校生である皆さんが次のフィールドで熟考すべき課題を発見し、その課題を解決するための考え方を養います。